

安全上のご注意

製品をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をご熟読いただき、正しくご使用ください。安全に関する情報、製品に対する正しい知識、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。



危険

: 取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起これて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



注意

: 取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起これて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

なお、



注意

に記載した事項でも、状況によっては重大な

結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

危険

| | |
|----|--|
| 全般 | <ul style="list-style-type: none">● 運搬・設置・運転・操作・保守・点検の作業は、取り扱いに熟知した人が実施してください。 感電・けが・火災の危険があります。● 爆発性の雰囲気では使用しないでください。 けが・火災の危険があります。● 整流子モータは機能上スパークを発生致しますので、引火性ガスなどの引火物は絶対に吸い込ませないでください。 けが・火災の危険があります。● 点検・調整などの場合は、必ず電源を切ってください。 感電の危険があります。 |
| 据付 | <ul style="list-style-type: none">● モータリード線を無理に曲げたり、引っ張ったり、はさみ込んだりしないでください。 感電・火災の危険があります。 |
| 配線 | <ul style="list-style-type: none">● ノイズフィルタ付属のモータの配線は配線図にしたがって確実に実施してください。 配線を誤ると、感電・火災の危険があります。 |
| 運転 | <ul style="list-style-type: none">● 停電したときは必ず電源を切ってください。 突然の再始動による、けがの危険があります。 |

⚠ 危険

| | |
|----|---|
| 運転 | <ul style="list-style-type: none">● 運転中、回転体（シャフト）に絶対に接近したり接触したりしないでください。さらにモータの開口部には物や指をいれないでください。 巻き込みによる感電・けがの危険があります |
|----|---|

⚠ 注意

| | |
|----------|--|
| 全般 | <ul style="list-style-type: none">● 銘板・取扱説明書・カタログに記載した仕様以外では使用しないでください。 感電・けがのおそれがあります。● 損傷したモータは使用しないでください。 感電・けがのおそれがあります。● お客様による製品の改造は、当社の保証範囲外ですので、責任を負いかねます。 |
| 輸送 運搬 | <ul style="list-style-type: none">● 運搬時は、落下・転倒に十分ご注意ください。 けがのおそれがあります。 |
| 開梱 | <ul style="list-style-type: none">● 現品が注文通りのものか確認してください。間違った製品を設置した場合、けが・火災のおそれがあります。● 輸送中の事故で破損していないか、シャフトが手で軽く回るか、確認してください。 破損した製品を使用した場合、けが・火災のおそれがあります。 |

⚠ 注意

| | |
|----|--|
| 据付 | <ul style="list-style-type: none">● モータの周囲には絶対に可燃物を置かないでください。 火災のおそれがあります。● モータの周囲には通風を妨げるような障害物を置かないで ください。 異常発熱による、やけど・火災のおそれがあります。● 雨や水滴のかかる場所では使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。● モータを負荷と連結する場合、心だし・ベルト張り・プー リの平行度にご注意ください。また、直結の場合は直結精 度を、ベルト張りの場合はベルト張力を正しく調整して ください。さらに運転前には、プーリ・カップリングの締付 ねじを確実に締め付けてください。プーリ・カップリング 飛散によるけがのおそれがあります。● 回転部には触れないようカバーを設けてください。 けがのおそれがあります。● 機械との連結前に回転方向を確認してください。 けがのおそれがあります。 |
| 配線 | <ul style="list-style-type: none">● モータに保護装置は付いていません。 過電流保護装置・漏電遮断器・温度過昇防止装置を設置し てください。 感電・火災のおそれがあります。 |
| 運転 | <ul style="list-style-type: none">● 運転中、モータは高温になります。手や体を触れないでく ださい。 やけどのおそれがあります。● 異常が発生した場合は直ちに運転を停止してください。 感電・けが・火災のおそれがあります。 |

⚠ 注意

| | |
|----------|--|
| 保守 点検 | <ul style="list-style-type: none">● カーボンブラシの点検・交換は、電源を切ってから実施してください。 感電・けがのおそれがあります。● 運転中モータは高温になっています。保守・点検は十分冷却してから行ってください。 やけどのおそれがあります。● カーボンブラシはすり減ったままで使用しないでください。 性能低下を起こし、火災のおそれがあります。● 補修部品については、当社指定の部品をご使用願います。 誤って使用されますと、けが・火災のおそれがあります。 |
| 修理 分解 | <ul style="list-style-type: none">● カーボンブラシの点検・交換以外の分解・修理・改造はしないでください。 感電・けが・火災のおそれがあります。 |
| 廃棄 | <ul style="list-style-type: none">● モータを廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。 |

もくじ

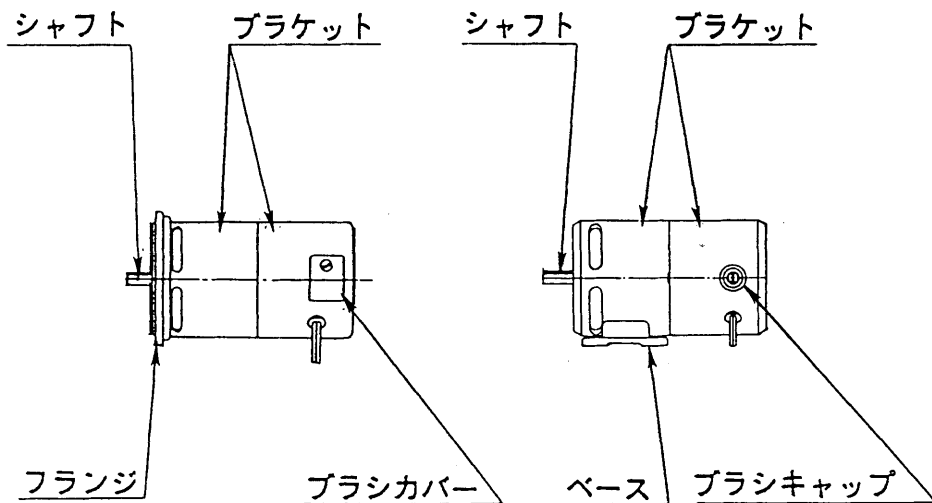
| | ページ |
|-----------------|-----|
| 安全上のご注意 | 2～6 |
| もくじ | 7 |
| 開梱されましたら | 7 |
| 各部のなまえ | 8 |
| 運搬 | 8 |
| 保管 | 8 |
| 使用前の準備 | 9 |
| 据付 | 9 |
| 配線 | 10 |
| 使用方法 | 11 |
| 運転 | 11 |
| 『使い方』の応用 | 11 |
| 保守・点検 | 11 |
| カーボンブラシの点検と交換 | 12 |
| おかしいな？と思ったら | 13 |
| もう一度次の点をお調べください | 13 |
| 使用条件 | 14 |
| 仕様・外形寸法 | 14 |
| メモ | 15 |

■開梱されましたら

まず次の点をお調べください。

- ご注文どおりの機種かどうか。
形式は； 出力は； 回転速度は；
- SSC811EA, 812EA, 111CA, 112CA
111EA, 112EA はノイズフィルタを付属
しておりますので、お確かめください。
- 輸送中の事故で破損していないか、お確かめください。
- 万一、不都合なところがありましたら、購入店にご連絡く
ださい。

■各部のなまえ



■運搬

運搬時は、落下・転倒に十分ご注意ください。

■保管

モータの寿命に影響しますので、下記の条件にあった場所をお選びください。

- 屋内の乾燥した場所
- 水・油のかからない場所
- 振動のない場所、ほこりのかからない場所、腐食性ガスの発生しない場所

■使用前の準備

■据付

(1)据付け場所

据え付け場所の良否は、モータ寿命にたいへん影響しますので、下記の条件に合った場所をお選びください。

- 風通しのよい場所
- 雨・水滴・油のかからない場所
- ほこりの少ない場所
- 清掃や点検が容易な場所
- 乾燥した場所
- 腐食性ガス（ H_2S ・ SO_2 ・ NO_2 ・ Cl_2 など）はもとより、有害なガス雰囲気中、および有害なガスを発生する物質（特に、有機シリコン系・シアン系・ホルマリン系・フェノール系物質）が存在しない場所
- 爆発性ガス・引火性ガスのない場所
- 振動の少ない場所
- 可燃物のない場所

(2)取扱い

- モータリード線を無理に曲げたり、引っ張ったりはさみ込んだりしないでください。
- プレス部品の切断面には素手で触れないでください。
- 機械との連結前に回転方向を確認してください。正規の回転方向と異なって使用されますと装置の破損の原因になります。
- 回転部には触れないようカバーを設けてください。

(3)機械との連結

- モータを負荷と連結する場合、モータと相手機械の軸の中心が一致するようダイヤルゲージで測定しながら調節してください。
- ベルト掛けの場合、モータの軸と相手機械の軸を平行にしてください。またベルト（両方のプーリの中心線）と軸が直角になるように調整してください。

■配線

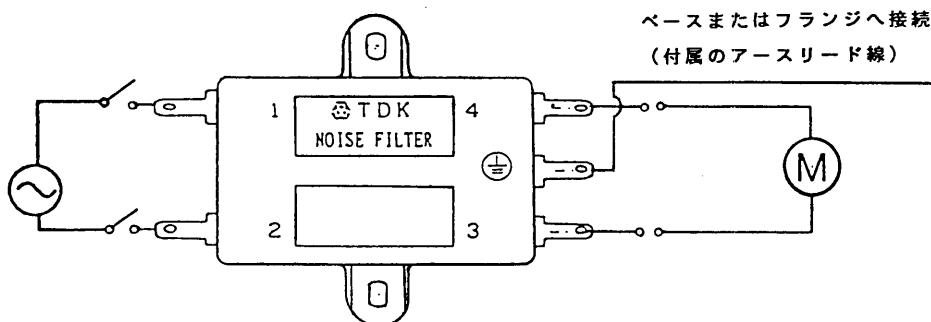
(1)保護装置

- モータに保護装置は付いていません。
過負荷状態や異常負荷が続くと焼損しますので、過電流保護装置・漏電遮断器・温度過昇防止装置を設置してください。

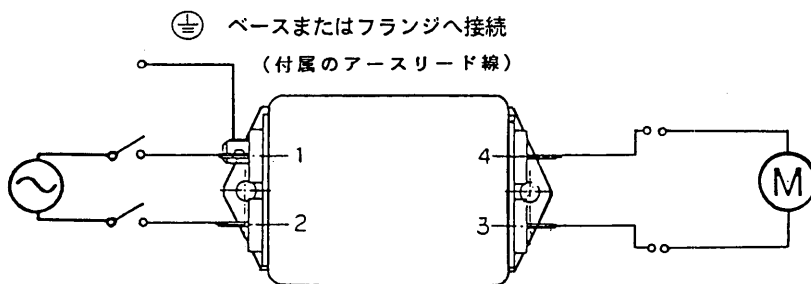
(2)ノイズフィルタ接続図

- ノイズフィルタ付属の機種は付属の電源リード線およびアースリード線を使用して、下図にしたがって確実に接続してください。

(a)SSC811EA、812EAの場合



(b)SSC111CA、111EA、112CA、112EAの場合



■使用方法

■運転

- 停電したときは必ず電源を切ってください。電源を入れたままにしておきますと、通電された時、思わぬ事故をおこしたり、負荷の状態によっては、重すぎて始動せず焼損することがあります。
- 運転中にモータ内部の充電部や回転部に触れることは危険ですから避けてください。
- 運転中、モータは高温になります。手や体を触れないでください。
- 異常が発生した場合は直ちに運転を停止してください。

■「使い方」の応用

- スピードコントローラDZ101BK・DZ101B（埋込形）と組合わせて、スピードをスムーズにコントロールできます。
適用機種が限定されますのでカタログにて確認下さい。

■保守・点検

使用環境（温度・湿度・ごみ・ちり・ほこり・振動など）の影響や使用部品の経年変化、寿命などから生じる不測の不具合を未然に防ぐため、保守・点検が大切です。

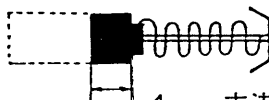
1. 運転が円滑に行われているか。
2. 運転中にモータが異常音を発していないか。
3. モータが異常発熱していないか。

■カーボンブラシの点検と交換

- カーボンブラシはすりへったままではお使いにならないでください。回転が悪くなったり故障の原因になります。
- カーボンブラシの点検・交換は、電源を切ってから実施してください。
- 運転中モータは高温になっています。保守・点検は十分冷却してから行ってください。
- 補修部品については、当社指定の部品を使用してください。誤って使用するとモータの性能を損ないます。
- カーボンブラシの交換手順は下記の順序で行ってください。

①ブラシカバーまたはブラシキャップ
をはずし、カーボンブラシを取り出
して点検してください。

②カーボンブラシの長さが4mm未満の
場合、新品と交換してブラシカバー
またはブラシキャップをしめてくだ
さい。



4 mm 未満の場合
交換してください

③カーボンブラシの長さが4mm以上の
場合はカーボンブラシの方向を抜い
た状態にもどして、ブラシカバー
またはブラシキャップをしめてくだ
さい。
逆に入れた場合、スパークの原因に
なります。

注) カーボンブラシのお求めは

補修部品として用意しておりますのでお買求めの購入店でお求めく
ださい。

■おかしいな？と思ったら

■もう一度次の点をお調べください

| 症状 | 点検内容 | 対策・処置 |
|-------------|-----------------------|---------------------|
| モータが回らない | ・配線は正しくされていますか。 | ・正しく配線してください。 |
| | ・正規の電源電圧が印加されていますか。 | ・正規の電源電圧を印加してください。 |
| | ・モータの故障。 | ・購入店にて修理。 |
| モータが異常に熱くなる | ・正規の電源電圧が印加されていますか。 | ・正規の電源電圧を印加してください。 |
| | ・負荷の大きさは適正ですか | ・負荷を軽くしてください。 |
| | ・モータの故障 | ・購入店にて修理。 |
| 振動・音が大きい | ・据付方法・取付精度を確認してください。 | ・据付方法・取付精度の改善 |
| | ・負荷のアンバランスは適正ですか。 | ・負荷のアンバランスを修正してください |
| | ・モータ単体で回転させ異常がありませんか。 | ・異常なら購入店にて修理。 |

■使用条件

| | |
|----------|-----------------------|
| 使用電源電圧範囲 | ± 1 0 %（定格電圧に対して） |
| 電源周波数 | 5 0 / 6 0 H z |
| 使用温度範囲 | - 1 0 ~ + 4 0 ° C |
| 使用湿度範囲 | 8 5 % R H 以下（結露のないこと） |

■仕様・外形寸法

| | | |
|-------------|-----------------------------------|-------------|
| 保護形式 | 開放形 | |
| 定格電圧（V） | A C 1 0 0 | |
| 出力（W） | 注1） | 3 0 ~ 4 5 0 |
| 回転速度(r/min) | 注1） 5 0 0 0, 1 0 0 0 0, 1 5 0 0 0 | |
| 定格時間 | 連続 | |
| 取付方式 | ベース、フランジ | |
| 質量（k g） | 注1） | 0. 8 ~ 4. 8 |

注1）機種により異なりますので詳しくは、カタログにて確認してください。

2）外形寸法につきましてはカタログを用意致しておりますので、必要に応じて購入店へご要望ください。